

第4章 世界の国々の結びつき

日本国内で新型コロナウイルスの感染者が確認されはじめると、使い捨てマスクは店頭から消えた。生産量を増大させているものの、手元には届かない状態が続いた。その理由について考えてみよう。

2節 貿易・国際分業

2-1. 使い捨てマスクについて知ろう。【動画】マスクができるまで▶

【問1】使い捨てマスクはどのように製造されているのか？動画を確認。

<https://sciencechannel.jst.go.jp/B980601/detail/B000601061.html>



2-2. 使い捨てマスクの生産量、輸入量について知ろう。

【問2】図表①から、マスクの国内生産量の変化（2010年と2018年）を読み取り、表を埋めよう。

	2010	2018
国内生産量	2 億 4800 万枚	11 億 1100 万枚
2010～2018 の増減	8 億 6300 万枚 (増加 or 減少)	

【問3】図表①から、マスクの輸入量の変化（2010年と2018年）を読み取り、表を埋めよう。

	2010	2018
輸入量	4 億 2000 万枚	44 億 2700 万枚
2010～2018 の増減	40 億 700 万枚 (増加 or 減少)	

【問4】図表①から読みとって、

全体量における国内生産量の割合（2018年）を計算して求めよう。（2010年をヒントに）

また、生産量の割合はどのように変化（2010年と2018年）しただろうか。表を埋めよう。

	2010	2018
国内生産量の割合	$248 \div 668 \times 100 = 37.1\%$	20.1 %
2010～2018 の差	17 ポイント (増加 or 減少)	

【問5】図表②では、1月27日の時点で、マスクの販売金額は前年比の（668 %）となっている。これは、購入したい人（需要量）が急激に（増えた or 減った）からだと考えられる。品不足への対策を行った結果、4/3 時点では、マスクの増産に必要な設備導入に対する経済産業省の補助金を受けた企業の月生産枚数は、合計（4561 万 7500 ）枚である。

コメント [M1]: 内容として、貿易、国際分業を取り上げる。

テーマとして、使い捨てマスクを扱う。身に付けることが多くなったマスクは、転売、価格の高騰、アベノマスクなどで様々な視点で取り上げられており、生徒にとって身近であると考えられる。

コメント [M2]: テーマへの興味関心を引き出す。

動画としても参考になる。

コメント [M3]: 現在の日本における、マスクの生産、輸入状況を把握させる。グラフから数値を読み取る力を確認する。問2～3が供給面、問4で需要面でのマスクが品不足になる要因を探る。

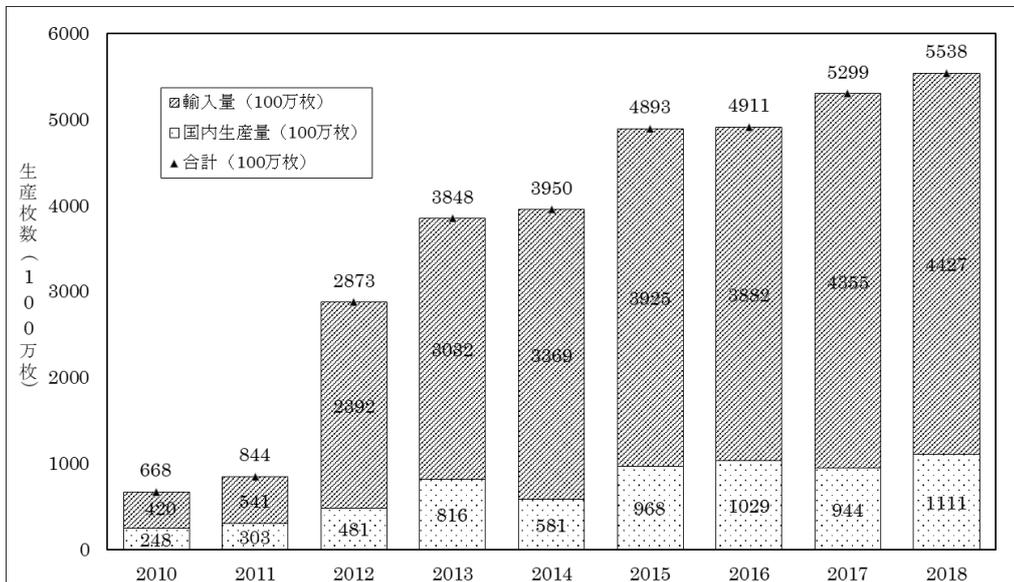
コメント [M4]: 図表①の読みとり、計算作業。

コメント [M5]: 図表①の読み取り、計算作業。

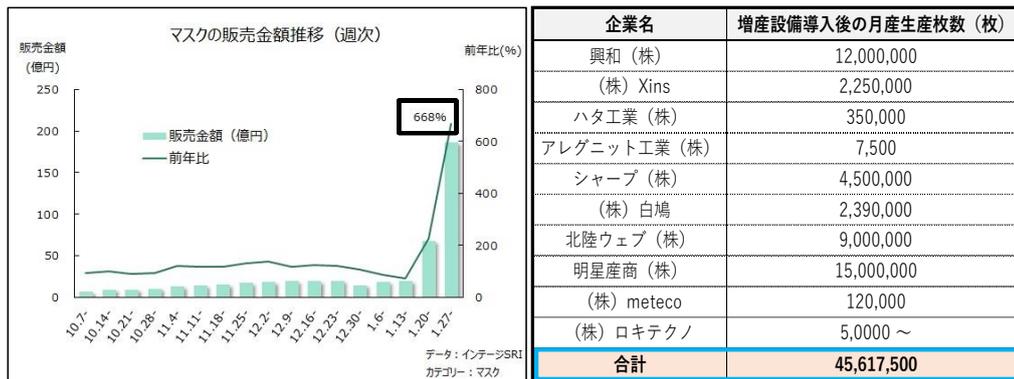
コメント [M6]: 図表①を読み取り、割合を計算させる、

2010年をヒントに考えてもらいたい。

コメント [M7]: 図表②の読み取り。



▲図表① 日本における使い捨てマスク生産（国内生産・輸入）数量の推移
（出典：日本衛生材料工業連合会 HP より）



▲図表② マスクの販売金額推移（左）、4/3 時点の国内での使い捨てマスク生産状況（右）
（出典：株式会社インテージヘルスケア HP（左）、経済産業省 HP（右）より）

小括①：●日本では(国内生産量 or 輸入量)の方が、増加量の伸びが大きい(2010～2018)

- 日本では使い捨てマスクを、主に(国内生産 or 輸入)している。
- 日本国内のマスク需要の急増に対応して、国内製造メーカーは増産している。
この量は、国内の需要量と比較すると(十分である or 十分でない)。

マスクが品不足になる理由：日本は、非常に多くの使い捨てマスクを(国内生産 or 輸入)している。また、国内需要量が(急増 or 急減)したため、国内製造量を増加させることとなった。つまり、日本では(国内生産 or 輸入)が滞ることが、マスクが品不足となる一因となる。

さらなる疑問???

では、なぜ日本はこれまで多くの使い捨てマスクの(国内生産 or 輸入)してきたのだろうか。

コメント [M8]: 注あり。

コメント [M9]: ここまでのまとめ。(問2～5)

コメント [M10]: マスクの品不足は、ほとんどを国外からの輸入に頼っているの、輸入が滞ることで、国内の需要量を満たせなくなる、という推察。
この内容は、知識がなくても想定できる生徒も多いのではないか。

コメント [M11]: 輸入が滞ることで品不足になることは、理解できる生徒も多いのではないか。
では、なぜそもそも、輸入をしているのかという疑問を想起させる。

1 経済産業省の補助金が交付された企業の月生産枚数を意味する。

